

岡垣町 ため池 ハザードマップ

クヌギバル(ウエ)

名称 **榑原(上)ため池**

【ため池諸元】
堤高 8.1m 堤長 92.6m 総貯水量 22,100m³

- この地図は、ため池が満水時に大規模地震や大雨によって決壊した場合に想定される浸水区域や浸水深、到達時間を示しています。
- 決壊時の状況次第では、表示区域以外においても被害が発生する可能性があります。
- 災害時に備えて、日頃から自宅周辺や避難所までの移動経路の浸水深を確認し、安全に避難できるように心掛けましょう。
- ため池が決壊する恐れのある場合は、ため池及び河川に近づかないようにしてください。

凡例



避難所



消防



警察



その他公共施設



要配慮者
利用施設

浸水想定区域凡例表

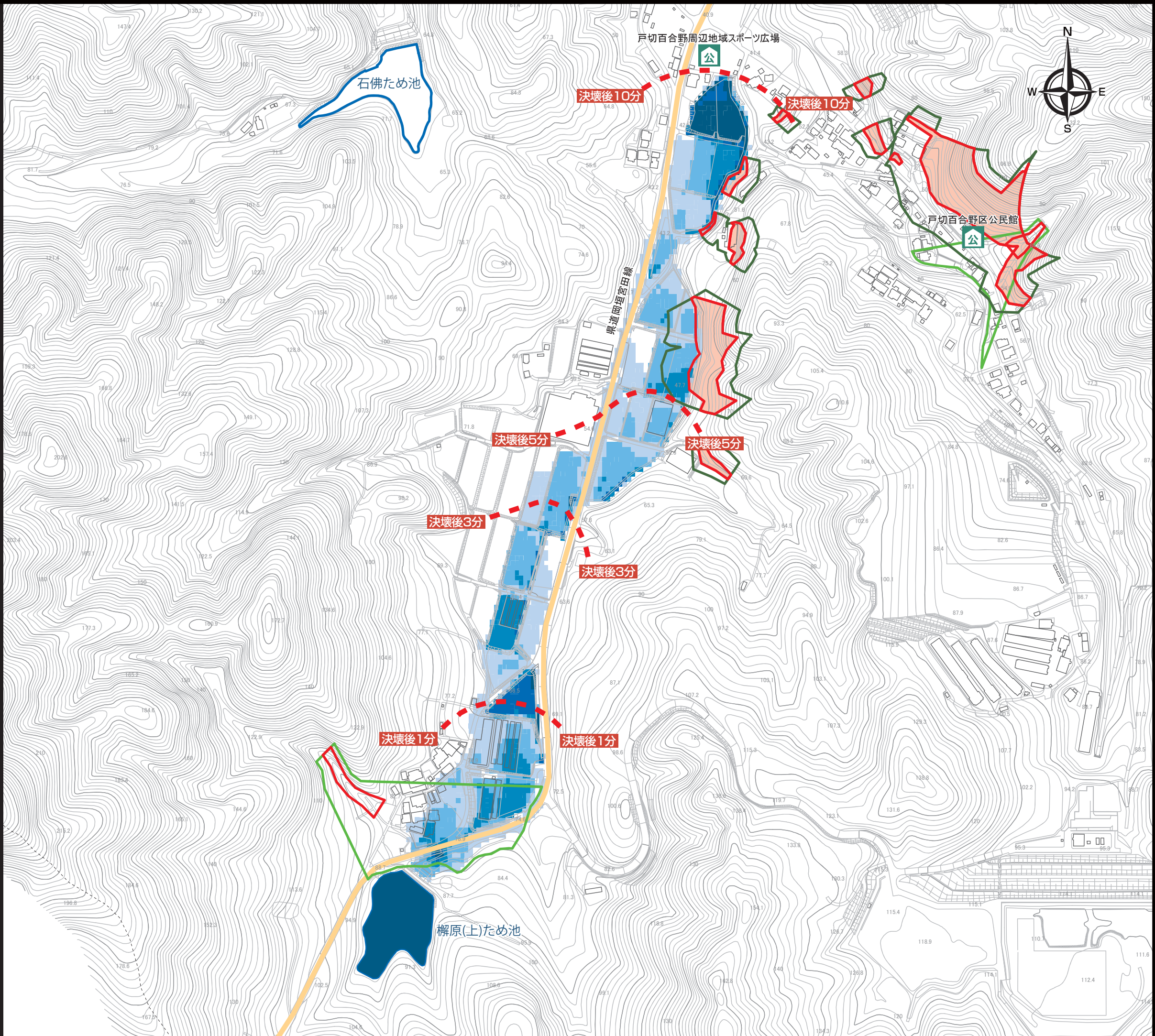
3.0~10.0m 未満

2.0~3.0m 未満

1.0~2.0m 未満

0.5~1.0m 未満

0.0~0.5m 未満



保存版 岡垣町 ため池ハザードマップ



みなさまが避難行動をとるために参考となる情報です。

ため池ハザードマップの活用方法

① 想定される浸水区域や深さなどを確認しましょう

- 氾濫水の到達時間に応じた避難を考えましょう。



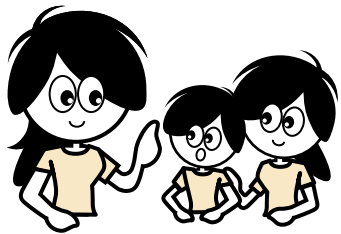
② 避難場所と避難経路を決めておきましょう

- 事前に避難場所までの避難経路と避難時間を確認しておきましょう。特に浸水深が3mを超える地区は、緊急避難できる身近な場所を探しておきましょう。
- 災害時の様々な事態をイメージし、避難できる場所を探しておきましょう。



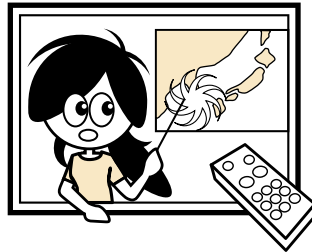
③ 日頃から家族や地域で話し合いをしましょう

- 家族の連絡先を確認しておきましょう。
- 災害時に協力し合えるように日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- 避難の際に支援が必要な方への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



④ 防災情報の入手先を確認しておきましょう

- 災害に備えて防災情報を日頃から確認しておきましょう。
- 町が公表している防災マップには、大雨に伴う河川の氾濫や、その避難に関する情報を記載しています。このマップと合わせて活用し、急な事態に備えましょう。



最新の情報はこちらから

岡垣町ホームページ <http://www.town.okagaki.lg.jp/>

福岡県防災ホームページ <http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/>

気象庁福岡管区気象台 <http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>



避難の考え方

3mを超える浸水深の区域にお住まいの方

- 2階以上が浸水
- 1階の家財道具などに被害

0.5~3mの浸水深の区域にお住まいの方

- 家屋が床上浸水
- 自動車の走行が困難

0.5m未満の浸水深の区域にお住まいの方

- 床下浸水(大人の膝程度)
- 歩行が困難

立退き避難 (水平避難)

- 指定緊急避難場所
- 近所の安全な避難場所



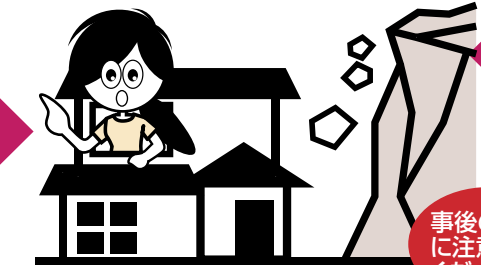
事後の情報に注意してください。

土砂災害警戒区域の中または周辺にお住まいの方

- 土砂災害が発生するおそれが非常に高い
- 前兆現象を感じたらすぐに避難する

屋内安全確保 (垂直避難)

- なるべく高い場所
- かけから離れた場所



事後の情報に注意してください。

土砂災害警戒区域の外にお住まいの方

- むやみに外に避難するのはかえって危険
- 油断は禁物です

- 避難の判断をするのはあなた自身です。
- 避難することで助かるのは、あなたやあなたの大切な人の生命です。
- 夜間から明け方にかけて大雨や台風の接近予報がある場合は、明るい時間帯での早めの避難行動を心がけて下さい。



避難の警戒レベル

警戒レベル	避難行動など	避難情報など	防災気象情報
警戒レベル5	災害発生情報 (市町村が発令)	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	警戒レベル5相当の情報 氾濫発生情報 大雨特別警報
警戒レベル4 全員避難	避難勧告 避難指示(緊急) (市町村が発令)	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険な場合は近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	警戒レベル4相当の情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
警戒レベル3 高齢者などは避難	避難準備・ 高齢者など避難開始 (市町村が発令)	避難に時間を要する人とその支援者は避難をしましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	警戒レベル3相当の情報 氾濫警戒情報 洪水情報
警戒レベル2	洪水注意報 大雨注意報など (気象庁が発表)	避難に備えハザードマップなどにより自らの避難行動を確認しましょう。	
警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への心構えを高めましょう。	

